

 enokojima creates osaka enoco 大阪府立 江之子島文化芸術創造センター	enocoについて ABOUT ▼	フロアガイド FLOOR GUIDE ▼	enocoのつかいかた HOW TO USE ▼	空き状況 AVAILABILITY ▼	アクセス ACCESS ▼	プラットフォーム 形成支援事業 PLATFORM >
	クリエイティブルーム 入居者募集 CREATIVE ROOM ▼	サポーター募集 SUPPORTER ▼	メールニュース登録 MAIL NEWS ▼	Q & A Q&A ▼	お問い合わせ INQUIRY ▼	大阪府20世紀 美術コレクション COLLECTION >

エノコジマ・クリエイティブ・カフェ IRON ∞ MAN ～お楽しみ会!?～

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [エノコジマ・クリエイティブ・カフェ「IRON ∞ MAN ～お楽しみ会!?～」](#)

このページの情報は、終了した事業に関するものです。

今回のクリエイティブカフェは、3月13日～24日の間、北加賀屋の「クリエイティブセンター大阪（名村造船所跡地）」にて開催される「IRON MAN」展アーティスト5名のうちの4名をお招きします。「IRON MAN」展は、鉄鋼業の発展の象徴的存在でもある造船所跡地（クリエイティブセンター大阪、以下CCO）において独自の世界観を持つアーティストたちが「鉄の文明と無限の人間の営み」をテーマに開催するグループ展です。

江之子島周辺地域は木津川沿いに造船所ができるのに従って、部品等を製造・加工する工場等が立ち並ぶようになりました。また当センター（enoco）は、元々1938年（昭和13年）に大阪の工業の振興と発展のため建設された「大阪府工業奨励館」をリノベーションしたものです。

テクノロジーの発達やグローバル化に伴い、工業を取り巻く環境は変化を遂げてきています。工業都市・大阪の発展を支える地域として栄えきた北加賀屋や江之子島周辺（西区）も、それぞれ現在はクリエイティブ拠点としてのまちづくりが進みつつありますが、今もなお、工業やそれを支える人たちの営みは社会の変化に対応しながら続けられています。

同じく美術の表現や取り扱われる素材も、こうした社会の変化に伴って多様化してきました。「IRON MAN」のアーティストたちも、取り扱う素材や表現方法は様々ですが、物質的あるいは精神的にダイナミズムを感じさせる作品を制作しています。今回のCCOでの展覧会は、その場所性と彼らの表現がどう呼応し合うのでしょうか。

今回は従来の一方向的なアーティストトークではなく、「お楽しみ会」と題して「IRON MAN」と参加者のみなさんがともにテーブルを囲む形式で行います。見た目にも精神的にも屈強な“鉄人”たちは一筋縄ではいかないかもしれませんが、今回の展覧会への出品作品、あるいは社会や美術を取り巻く状況の変化の中で生き抜いてきたその生き様、日々の制作の営みなどに、身近に接していただく機会となればと思います。

また会場となる当センターの地下の壁面には、「工業奨励館」として建てられたときに正面玄関の扉の上に飾られていたガラスレリーフを展示しています。工業の振興と発展を目的とした施設らしく、歯車や煙突といった「工業」を連想するモチーフが、アールデコ調に描かれたレリーフとなっています。こちらもあわせてご覧ください。

日時	2013年3月15日（金） 19:00～20:30
会場	江之子島文化芸術創造センター B1カフェスペース アクセス
料金	500円（1ドリンク付）※2杯目以降はキャッシュオンをお願いします。
定員	25名（事前申込不要・当日先着順受付）
ゲスト	飯島浩二、久保田弘成、橘宣行、タムラサトル（IRON MAN展出品アーティスト） （敬称略・50音順）
主催	大阪府立江之子島文化芸術創造センター

ゲストプロフィール

▼ 飯島 浩二（いじま こうじ）

1973年横浜生まれ。

1997年武蔵野美術大学卒業と同時に作家活動を始め、2006年まで同大学に勤務。

その後、米国に5年間滞在しアメリカ大陸を中心に活動。2011年、文化庁在外研修を経て帰国。

主な展覧会に光州ビエンナーレ'04（韓国）やパルクティン火山芸術祭'08（メキシコ） などがある。

また芸術と並行してプロ格闘家としても活動しており、米国ではケージファイターとして戦った。

[KOJI-IIJIMA WEB](#)

▼久保田 弘成 (くぼた ひろなり)

1974年長野県生まれ。武蔵野美術大学院修了。

KIRIN CONTEMPORARY AWARD'97奨励賞。

武蔵野美術大学卒業生対象パリ賞、財団法人ポーラ美術進行財団助成金、文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランス、ドイツ、アイルランドにて活動。メキシコ、中国、フィンランド、マケドニア、ポルトガル、スウェーデン等で制作発表を行っている。

世界男根彫刻大会(韓国サムチョク市)第三位。

[久保田 弘成 Official Web Site](#)

▼橋 宣行 (たちばな のぶゆき)

1966年大阪生まれ。神戸大学教育学部卒業。

2000年アートナウ「なごみのヒント」(兵庫県立近代美術館)、2004年Bemis Center for Contemporary Art (オマハ/アメリカ)、2005年「ランボルギーニタチバナ」(メタルアートミュージアム 千葉)、2006年さわって楽しむ現代アート展(浜田市こども美術館 島根)、2011年おおさかカンヴァス推進事業(中之島公園)。

[橋 宣行 オフィシャルサイト](#)

▼タムラサトル

1972年栃木県生まれ。1995年筑波大学芸術専門学総合造形コース卒業。

1997年コマバクストラウム(東大駒場寮内)での個展より作家活動を開始。

主な展示は、ニュー・メディア・フェイス02 (ICC)、First Steps : Emerging Artists from Japan (P.S.1)、あいちトリエンナーレ2010/企画コンペ、小山マシーン(小山市立車屋美術館)、光あれ!(栃木県立美術館)など

[SATORU TAMURA](#)

参考情報：IRON ∞ MAN展

鉄鋼産業の象徴的存在でもある造船所跡地(クリエイティブセンター大阪)において独自の世界観を持つ"鉄"の美術家たちが"IRON∞MAN"を開催する。戦後日本美術は経済成長の反映を受けながら流行付けられてきた。そして今、経済の停滞とともにダイナミックな作品発表は陰を潜め、東日本大震災の影響も助長してか若手美術家の間には閉塞感にも似た空気が漂っている。日本経済の足踏み状態が美術界にもガッツリと影響を与えているからだ。そこで、第二次高度経済成長期に生まれた美術家5人が、この現状を打開すべく自らの企画で自らの鞭を振るう。

期間	2013年3月13日(水)～3月24日(日) ※18(月)、19(火)休み 平日 13:00～19:00 / 土、日、祝 10:00～19:00
会場	Creative Center Osaka (名村造船所跡地) (住所) 〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋 4-1-55 (アクセス) 大阪市営地下鉄 四つ橋線 北加賀屋駅 4番出口より徒歩10分
料金	無料
定員	50名程度(予約不要・当日先着順受付)
問い合わせ先	NPO CONTEMPORARY ART JAPAN メール kojijijima@gmail.com

※本展覧会の開催会場はenocoではなく、上記Creative Center Osaka (名村造船所跡地)です。ご注意ください。また展覧会に関するお問い合わせは上記までお願いいたします。

- ・レセプション パーティー : 3/16 (土) 17:00～ 会場にて
- ・飯島浩二&久保田弘成 パフォーマンス : 3/16 (土) 及び 3/17 (日) 18:00～ 会場にて



サイトポリシー

指定管理者

バナー広告募集

プレスリリース

- > enocoについて
- > フロアガイド
- > enocoのつかい方
- > 空き状況
- > アクセス

- > クリエイティブルーム
- > サポーター募集
- > メールニュース登録
- > Q&A
- > お問い合わせ
- > プラットフォーム
形成支援事業

- > enocoのプロジェクト
- > enocoの学校
- > 大阪府20世紀コレクション
- > ライブラリー
- > サポーターものづくりルーム

ツイート

